



小学生のための アジア理解教育

ガムランを体験してみよう

ガムランって何？

- 「ガムラン」はインドネシアの民族楽器で、「打つ」「叩く」という意味があります。
- 楽器は青銅や木などからできています。打楽器のほか、笛、弦楽器、声楽も加わります。楽器が多いので合奏は10名以上でおこないます。
- ガムランにはいくつかの種類がありますが、今日体験して頂くのは「ジャワ・ガムラン」です。

ジャワ・ガムランのふるさと



主な楽器の紹介

- 曲の節目（ふしめ）を知らせる楽器
- ゴング、スーアン、クンポル（つり下げてある銅鑼類）
- クノン（コブ付の銅鑼、平らに置いて演奏する）
- 主な旋律（せんりつ）を演奏する楽器
- サロン（大・中・小の鍵盤（けんばん）楽器）
- 旋律に飾りをつける楽器
- グンデル（2オクターブある鍵盤楽器、やわらかい音）
- ボナン（コブ付の銅鑼、平らに置いて演奏する）

ガムランを演奏してみよう

- 今日演奏するガムランは5つの音の組み合わせから成ります。音階は数字で表します。
- 1 ・ 2 ・ 3 ・ 5 ・ 6 （4は無し）
- これは「スレンドロ音階」といいます
- 基本のメロディーは「サロン」という楽器が担当します。

基本のメロディー(数字の通り演奏してみよう！)

・ は休み

■	5	■	3	■	5	■	3
■	5	■	3	■	6	■	5
■	6	■	5	■	6	■	5
■	6	■	5	■	3	■	2

続き

▪ 3	▪ 2	▪ 3	▪ 2
▪ 3	▪ 2	▪ 1	▪ 6
▪ 1	▪ 6	▪ 1	▪ 6
▪ 1	▪ 6	▪ 5	▪ 3

お疲れ様でした！

